

ムラケン通信

2014.10月 発行 Vo1-126

9月のムラケンのデキゴト。



山登りイベント前の下見を兼ね権現山へ。
滝がいくつかあり、景色が楽しめる山です。



9月27・28日に産業会館にて
水まわり工房フェアを行いました。



9月は各地でいろいろなイベントが。
西山公園での『焼き鳥合衆国』。



ムラケンの玄関先。
色々なイベントのチラシ。



四季咲きのバラ。
秋にもきれいに咲きました。



ご本山での誠市やご縁市、
たくさんの人で賑わっていました。



近藤さんの里芋畠。
大きな葉っぱは森みたいです。



権現山の巨大モミの木。
すっごく大きいんです☆



第24回目のトイレ掃除。



ゴーヤの実が熟して、
中から赤い種が…。



ゆるキャラ『クリ夫』
クリナップフェアにて。



小松基地での航空祭に
行ってきました。



花壇に植えてあるヤブラン。
紫色のかわいい花が咲きました。



毎年、稻刈りが終わると
会社の垣根を剪定します。



コスモスがあちらこちらで。
秋を感じます。



あちらこち
らで
小さい秋
みつけた☆



プロの技・リフォーム設計力
ムラケン
Renovation Professional skill

追求する

お客様が思い通りの住まい創る事はとても難しい事です。昔から家は三度建てないと満足するものは出来ないと言われています。もちろんそんな大きな買い物を三度もするなど無理な話ですが、これはそれほど思い通りの家を建てるのは難しいという例え話です。

なぜそれほど難しいのか。ほとんどの方が自分の家づくりについてどうしたいかその思いをまとめていながらではないでしょうか。

あれもしたい、これもしたい、家相も気になる、色々な思いが巡つて何が一番大事なのか、家を建てる目的は何なのか、頭の中でもまとめきれないままに工事がスタートしていくのです。ですから後に迷いが出て、やむを得ず工事をストップし、やり直しすることも出でます。そのような事を避けるにはどうしたらよいのでしょうか。

自分の思いをまとめた住まい創りの指針のようなものがあれば「思いを叶えた住まい」に近づくはずです。でも残念ながら自分の思いをまとめ、それを人に伝えるのは容易な事ではありません

このことは自分たちの経験からその大切さを感じています。単にお客様が言われた事だけを工事しても百%の満足は得られません。お客様は思いをうまく表現できないので、その思いの断片だけを言葉に出しただけに過ぎないので。その言葉をして来られた背景を掴まなければ本当のお客様の思いを知ることは出来ないです。

その人の思いを掴みプロデュースする、それが私達の出来る役割だと考えています。ではどのようにプロデュースするのか。ここにあるお客様の家づくりに対しての思いをまとめたものがあります。私達はこれを「建築趣意書」と呼んでおり、家創りの指針となるものです。

その思いを感じ、この趣意書を創った意義を受けとめて頂けたらと思います。

『リフォームの思い・趣意書』

家族の状況

私たちは結婚して約十年近く経ちました。今現在主人と小学生になる二人の息子と住んでいます。すぐ隣に母屋があり、父・母が暮らしていますが、私たちが勤めに出た後は、こちらで過ごしてくれています。夕食は、主人は仕事で遅くなることが多く、父や母と子供たちと夕食と一緒にします。私が帰るまでに母は夕食の準備をしてくれています。主人が帰って来て食事をしている間、子供たちや父や母とともに団欒の時を過ごします。

生活・住まいの状況

食事や団欒は食卓のある部屋で、食後は六畳の和室でテレビを見たりお茶を飲んだり。

今過ごしている部屋は、部屋の割には食卓が大きく、出窓は人と主人の物置のようになっていて窓も開けられないような状態です。私も人様に言えるほど整理整頓が出来ているわけありませんが、何とかしなければと思うほど雑然としています。物が増えても息苦しさを覚えることもあります。

居間や食堂など全て西向きで、夏は暑く熱を遮る為に雨戸を開めて使う事もあります。その為あまり換気も良くなくてカビが生えるということもありました。冬にはよく結露が出て決して居心地のよい環境とは言えません。

寝室は現在一階の和室を使っていますが、冬などは寒いこともあって子供たちもトイレに行くのをためらうこともあります。

暮らしの様子

洗濯は現在母にお願いして、母屋で洗濯をしてくれています。ですから私たちが生活している所には洗濯物を干す場所はありません。しかしいつまでも母にお願いし、これから息子たちが大きくなるにつれ洗濯物も増えてくるのに、いい加減、頼ってばかりもいられないという思いがあります。

そういうことで、サンルームをつくったらしいのではないか?と父母は言うのですが、それで、私の思いが解決するわけではないのです。

例えば、十年先を考えると、いずれお母さんたちにもこの家に移ってもらい、息子たちも私達も二階に移り、和室を使ってもらう事も視野に入っています。

ん。自分の心の中を取り材しそれを言葉として表わさなければなりません。また建築に対する素人ですし、経験もありません。ですからその人の気持ちを掴みその思いを表現してくれるプロデューサーが必要なのです。その役割を務めるのが私達なので

このことは自分たちの経験からその大切さを感じています。単にお客様が言われた事だけを工事しても百%の満足は得られません。お客様は思いをうまく表現できないので、その思いの断片だけを言葉に出しただけに過ぎないので。その言葉をして来られた背景を掴まなければ本当のお客様の思いを知ることは出来ないです。

母と一緒に過ごした子供時代

私は、今の生活を考えるとき、できるだけ母親と子供が接する暮らし方をした方がいいと考えています。今は勤めているのですが、それでも自分の子供の頃を思い出してみると、私は帰宅するとお母さんの働いている場所(おじいさんの仕事場)に駆けつけて、いつも母の姿が見られる場所にいたように思います。

両親が建ててくれた家

今、住んでいる家は、両親が建ててくれた家で築二十年ぐらい経ちましたが、私も結婚して子供も出来、子供の成長や父母の将来なども視野に、私たちが核になって次の世代の暮らしのあり方を考えてみたいと思い始めています。まだ漠然としたものですが、これから二十年を視野に入れて考えて見たいと思っています。

新たな生活

結婚して子供が産まれ暮らしてみると、少し手を加えた暮らしもあるのではないかと少し前から思いが膨らんできました。サンルームというよりも、これをきっかけに思い切って家族六人が暮らすスペースを作れたらというような気持ちが強くなっています。でもどうしたらこの思いが実現できるか、まだ私の気持ちはスッキリしません。

私の現在の思い

これから成長する子供たちと、できるだけ一緒に生活できるよう、リビングをもっと広くして、食事の支度をしながらでも子供が勉強したり遊んだりしている姿が見えるようにしたい。主人と父が少し互いに気を使っている現在、居間も含めてゆったりと憩える空間がほしい。また今までそんなことを考えたこともなかったのですが、年齢に相応しい本物を備えた暮らし方も考えてみたいと思っています。

整理整頓ができる、部屋にものが溢れるようなことのない整理スペースも折り込みたい。

冬寒く夏暑い今の状況を快適に過ごせるように改善したい。洗濯ものを干す場所も考えたい。お風呂や洗面所には特に手を加える必要性は感じていません。

ゆくゆく、父母にこちらに移ってもらい、身近でお世話をすると時も想定したリフォームができたらと思います。



プロの技 リフォーム設計力！



建築プロデューサー
宇野 義壽

暮らし。変わる。リノベーション。～新生活へのスタート～



コルクの床と最新の便座を備えたトイレ。

温水器を組み込んだ洗面台。

たっぷり入る造り付けの収納。



ムク板の天井と
消し忘れのセンサー付き照明。



腰には模様入りのアクリル板。



壁は珪藻土に塗替え。



目隠し用のロールスクリーン。

ここは二階ですから利便性を考え洗面所とトイレを増設しました。洗面台の中には小さな温水器を設置してお湯が出来るようにしています。横手の収納のカウンターはご両親が今まで使っていたテーブルの板を再利用しました。

今は床の間付の十二畳の大きな和室と、周りに広縁が繋がっています。そこを将来は全体に床をフローリング張りのワンルームとして使用する計画。将来のリフォームプランを計画した後、今回行う内容を決定していきます。

現在は床の間付の十二畳の和室は床の間、そして天井作つたので床の間も天井も手の込んだ造りになっていて、この状態を最大限に利用する方法で進める事にしました。

階とはいえ元々座敷として階の和室です。最初は全て解体して作り変えようとも考えていましたが、すぐにこちらでの就職先も決まり、あまり時間も掛けられない事と、二

新しく寝室となる部屋は二階の和室です。最初は全て解体して作り変えようとも考えていましたが、すぐにこちらでの就職先も決まり、あまり時間も掛けられない事と、二

新しい生活を迎えて

今月のリフォーム設計力

オルや衣類など日常的に使う

物を収納するのにとても便利です。上部棚には、目隠し用

のスクリーンを取り付けました。

トイレは、もともとは押入れだったところです。床はコルクタイル、天井は杉の無垢材と自然素材を利用。便器はオート洗浄付で節水型のものに。照明は人感センサー付きです。

和室は床の間、そして天井はそのまま利用し、壁を自然素材の珪藻土で塗りあらため、畳は表替えをしました。

縁側境の障子は腰の部分は山水画が描かれた硝子だったのですが、割れやすく部屋の中が見えてしまうので寝室には適さず、模様が入ったアクリル板をはめ込み、障子紙も貼り替えました。

このように今までの良いものを活かし、またそこに新しい利便性のあるものも取り入れてとても快適でかつ使いやすい寝室へと生まれ変わりました。この和室を造るに当たり、思い入れがあつたご両親も良いところを生かしてくれたとその仕上がりにとても喜んで頂きました。



今月の現場

9月(8/21～9/20)完成のお客様

ありがとうございました!!

鯖江市住吉町西嶋様 給湯器取替え工事
鯖江市大倉町木下様 シャッター取替え工事
鯖江市東鯖江 ROC 様 雪止め取付工事
鯖江市屋形町水津様 耐震工事
鯖江市住吉町橋本様 網戸新設工事
鯖江市丸山町佐佐木様 トイレ修繕工事
鯖江市丸山町北陸灘化様 ドアノブ修理工事
鯖江市住吉町北嶋様 修繕工事
越前市岩本町滝呑様 雨樋修繕工事

鯖江市住吉町田辺様 建具修繕工事
鯖江市屋形町佐々木様 剪定伐採工事他
鯖江市住吉町山崎様 2階リフォーム工事
鯖江市屋形町村上様 床張り工事他
鯖江市本町八田様 屋上笠木防水工事他
鯖江市新横江大西様 外装工事
鯖江市横江町片山様 ブラインド取付工事
鯖江市深江町長田様 倉庫外装工事



■テラス工事

自転車置き場を兼ねテラスを設置しました。



■防水工事

屋上にFRP防水を施工しました。

■耐震工事
壁を壊し新しく筋交を入れ、構造合板を張り、耐震力を高めます。



★耐震工事のご相談もお気軽にどうぞ。補助金についてもご説明します。★

★お住まいのワンポイントアドバイス★

～『水まわり工房フェア』に参加しました～



↑クリナップさんと言えば、ステンレスのキッチン。会場では実際に見て触れて…。使い勝手のよいキッチンに感動します☆

9月27・28日、福井県産業会館にて、クリナップさんの『水まわり工房フェア』に参加しました。クリナップさんのシステムキッチン、ユニットバス、洗面台の設備機器はもちろん、いろいろなメーカーさんの協賛もあって、直に話が聞けたりとお客様も、私達ムラケンも楽しめたフェアになりました。

→各メーカーさん。いろいろなIHが体感できました。ガス対IHのスイーツ対決も○



クリナップのマスコット『クリ夫くん』。子供達に大人気。ふなっしーに対抗し「ジャンプして」の声にも応えてくれてましたよ～☆☆☆(ゆるキャラとして今後人気沸騰!?)



ちょっと気になったのかコレ!!
マグネットを使ってペタペタ
いろいろなモノを貼り付け可能☆

←シンコールさんのブースでは女性のスタッフの方がクロスの提案や相談にのってくれましたよ。そこで見つけたのがマグネット壁装材。写真のボードはキッチンパネルとして利用できるというもの。お玉などひっかけられるのは便利ですよね～。レシピも貼れるし便利そう♪。またボード以外にクロスの下に貼るマグネットも。壁に画鋲の穴がいっぱい、なんて事はなくなりますよね。子供部屋にもいいし、冷蔵庫にメモやプリントをペタペタするかわりに、キッチン横の壁なんかに使用してもいいですね☆



↑お片付けセミナー。ついでに取っておいてある物、キッチンにはいっぱいありますよね～。

★お住まいの水まわり
お気軽にご相談ください★

★お住まいのお困りごとはムラケンへ★
(修繕・修理、何でもご相談下さい)

★お店・会社紹介★

～山崎谷間さま～

今回は『素敵な人』紹介♪



山崎谷間さんと奥様。

まなべの館での絵画展にて。

今回は油絵を描かれている山崎谷間さんを紹介します。会社を退職後、何かはじめようとカルチャーセンターに通われました。英会話、水墨画、油絵など・・・。いろいろとやってみた中で、最終的に残ったのが油絵だったそうです。山崎さんは「示現会」の会員で年に1度の「示現会展」に作品をだしておられます。大きな作品は考える時間も多いので出来上がるのに約1年かかるそうです。その合間に小さな作品も描かれています。



昔の西山公園駅。懐かしい感じ…。心温まる1枚ですね。



兜の絵はサイズも大きいので、かなりの迫力があります。

また、9月初旬に「まなべの館」にて23年間描かれた油絵の数々を展示する絵画展を開かれました。絵画展に伺ったのですが、大きな大きなキャンバスに描かれた絵はとても迫力がありました。また懐かしい鯖江の風景画もあり、何かほっと心温まるような感じで、とても楽しむことが出来ました。油絵のことは何も知らなかったのですが、キャンバスの大きさのこと、絵の具のこと、額縁のことなど、いろいろとお話を聞かせて頂きました。

*「示現会」とは…。昭和22年31名によって設立。具象絵画団体で、全国で現在850名を超える大きな団体となっています。毎年、国立新美術館にて「示現会展」を開催し、各地での「巡回展」をしています。(示現会さまホームページより)



外装工事の現場。屋根・壁を解体。9月は天気に恵まれました。



写真上…海上自衛隊艦艇を見に家族で福井新港へ。写真右…誕生日の9月に毎年記念写真を撮ります。



リフォームの現場管理は時間をとるのが大事
天気が良かった九月は私も宇野社長も近藤さんも現場施工で忙しかったです。私は自分で工事を増やすと、仕事の完成度やお客様の満足度が下がってしまうというラインです。

現場施工が多くなると、当然一つ一つの現場(お客様)に対する時間が少なくなります。お客様はもちろん現場の職人さんとの打合せ時間も少なくなります。私自身で施工出来る事も業者や近藤さんなどに頼む事が多くなり、

結果、外注する事になります。打合せ不足によつて施工がやり直しになる事もあります。リフォーム工事は着工してからの打合せや現場管理が新築工事に対して多いです。新築の場合は契約までの打合せが多い分、着工時にはある程度設計も仕様もしつかり決まつていて打合せも現場管理もスムーズです。しかし、リフォームの場合は業者への指示や施工状況の目視確認は日々欠かせません。解体しでこの予想外には助かっています。ホント屋根や外壁をめくる時は天気が気になつて気になつて仕方ないんですよ。

VOL. 57
月刊ミズノ「サ・現場管理月記」
アオイは六歳になり何でも一人で出来るようになつてきました。父カツシはいつの間にか三十四歳になりました。八月に台風が極端に少なかつたので、そんな年の九月は台風が多いとニュースで言つていましたが、そんな予想も外れたようですね。まだまだ屋根や外壁など外廻りの修繕工事の依頼を頂いているのでこの予想外には助かっています。ホント屋根や外壁をめくる時は天気が気になつて気になつて仕方ないんですよ。

リフォームの現場管理は時間をとるのが大事

天気が良かった九月は私も宇野社長も近藤

さんも現場施工で忙しかったです。私は自分

の中で工事の完成度・満足度のラインが感覚的

に決まっています。それは、これ以上現場施

工を増やすと、仕事の完成度やお客様の満足

度が下がってしまうというラインです。

現場施工が多くなると、当然一つ一つの現

場(お客様)に対する時間が少なくなります。

お客様はもちろん現場の職人さんとの打合せ

時間も少なくなります。私自身で施工出来る

事も業者や近藤さんなどに頼む事が多くなり、

結果、外注する事になります。打合せ不足によつて施工がやり直しになる事もあります。リ

フォーム工事は着工してからの打合せや現場

管理が新築工事に対して多いです。新築の場

合は契約までの打合せが多い分、着工時には

ある程度設計も仕様もしつかり決まつていて

ため打合せも現場管理もスムーズです。しか

し、リフォームの場合は業者への指示や施工

状況の目視確認は日々欠かせません。解体し

ため打合せも現場管理もスムーズです。しか

さあ！山に登ろう！！

『生きる力を育てる』をテーマに子供の為のイベント企画開催しています。木工教室に続き『山登り』をします。自然を満喫し、自然の大切さを学び、そして自分の力で登った達成感を子供達に味わってもらいたいと思っています。親子で、ご家族で、ぜひご参加ください★

日時：10月13日（月）：体育の日

場所：權現山（越前市今立地区）

集合は「小次郎公園」越前市北坂下町（9時集合）

★野外での活動ですので、保護者同伴でお願いします★
参加は無料。ムラケンまでお申し込みください。

【持ち物など】

持ち物はお弁当、お茶など（水分は十分に）、アメ等あるといいですよ。疲れを癒してくれます。タオル、帽子、汗をかくことを予想して着替えがあるといいですが、荷物は少ない方がいいです。判断は各自にお任せいたします。下山後の着替えとして車の中に置いておくといいですね。靴はトレッキングシューズなどがおススメですが、普通のシューズで構いません。シューズだと下山が滑りやすいです。（質問相談等は南部までお気軽にどうぞ）

（小・中学生のお子様はもちろん、保育園児のお子様も大丈夫ですよ。頂上にてお弁当を食べ下山予定です。保険に加入いたします。大人の方もどうぞ。）



近藤さんの与欣コラム

～近藤さんの畑仕事 秋編～

秋になりましたね！近藤さんの畑では冬野菜の準備はもちろん、いろいろなモノが植えられていました。今が旬？の里芋、キャベツ、しょうが、ブロッコリー、白菜、水菜、春菊、レタス、白カブ、赤カブ、大根、ほうれん草、ネギ、パプリカ、秋じやがいも。近藤さんは春と秋と年に2回ジャガイモを植えます。そして秋といえば、くん炭。近藤さんは毎年くん炭を作っています。出来上がるのに3～4時間ぐらい。途中、まぜたりと手を加えながらの作業。畑仕事は手間暇がかかるものですね。



編集後記&ユキコの雑談



戦闘機のコックピットを見学。



迫力あるブルーインパルスの飛行。

小松での航空祭は、今回で2回目なのですが、今年は最後まで会場で航空ショーを見ました。一番最後にある、ブルーインパルスの飛行は間近で見れるので大迫力です。飛行技術はもちろん、大きな音も体感できるんです。ドキドキワクワクしながら大人も子供もとても楽しめました。

暑い夏も終わり、涼しくなってきましたね。九月は祝日もあり、お出かけにはいい感じの季節です。鯖江の誠市、ご縁市、焼き鳥合衆国、さばえ秋花火、今立の權現山へ下見登山、小松基地の航空祭。各地のイベントに参加したりと、子供達と一緒に過ごせました。

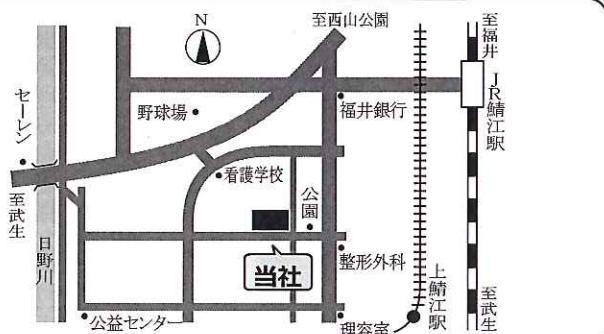
さて、当日はミツキの成長ぶりを見るのにとて もよい機会となりました。家ではお兄ちゃんとケンカしたり、自分の思い通りにならないとすぐに泣いてしまうミツキ。ですが園ではまったく泣くことはありません。することはきちんとやつてい るし…。意外につっかりしていくビックリしま した。これら、ちゃんと1年生になれるかな？ とちょっとびり安心しました。

『秋の行楽？（9月編）』

編集・発行



株式会社ムラケン 〒916-0056 鯖江市住吉町3丁目4-5 Tel.0778-52-6389



『次男ミツキの1日先生』

先日、ミツキの保育園の「1日先生」に行つきました。毎年楽しく参加しているのですが、今年で最後かと思うと、とっても残念デス。